

その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.135

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ●56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



不条理にも階層社会を改めて 顕在化させた、阪神淡路大震災

今週の逸品



串揚げコース 5500円~

揚げ手の修業先は、あ〜ぼん。芦屋のぼんぼんを踏して店名とした、如何にも関西らしい心算は、あもんにも少なからず漂う。最初は食材を見せる辺りは鉄板焼の料理店を想起。基本的にはお任せのコース。スト

【串揚げ あもん】東京都港区麻布十番2-5-14 マイコーナービル3F ☎03-5770-5688 営業日~木18:00~23:30 (LO22:30)、金・土18:00~4:00(LO3:00) 火曜定休 禁煙 <http://www.azabu-amon.com/>

illustration by Hajime Anzai

43^歳、阪神、2号線、国鉄、山幹
阪急の符丁で呼ばれていた道路や
鉄道を浜つ側から山つ側へと越え
るにつれ街並みも変化する。「阪神
間」は良くも悪くも階層社会。故
に東京より一足先に流行が生まれ
易い。つてな解説を80年代に「p
opeye」や「an-an」の
神戸特集に寄稿したものです。
無論、例外も存在します。43よ
りも南側の谷崎潤一郎が愛した
芦屋川沿いの平田町は今も猶^{なほ}屋
敷町の面影を留めています。他方
で90年代初頭には六甲アイランド

の埋立地に中産階級の居住地が出
現し、冒頭の構図が幾分希薄化さ
れもしました。
が、95年、夜勤者や出張者、不
倫者W以外は基本的に家族と一緒
に自宅で激震に遭遇したればこそ
人々は沈着冷静に助け合った午前
5時46分発生の阪神・淡路大震災
は、不条理にも改めて階層社会を
顕在化させたのです。50ccバイク
に跨がり避難所やテント村を駆け
巡っていた僕の実感です。
浜手で家族と同居を喪失した者
も、山手で何れも無事だった者も、

震災当日は同じ被災者でした。電
気も水道もガスも不通で、誰もが
闇夜を迎えたのですから。けれど
も公共設備の復旧と共に、前
者と後者の「格差」は固定化して
いったのです。
歴史に「若しも」は御法度にせ
よ、仮に地震が二時間遅く発生し
ていたら、悲劇を共有する「震災
共同体」は、より強くより長く存
続し得たと考えます。
満員電車、高速道路、勤務先や
勉学先、更には自宅で家事中…。
別々の場所で家族が被災し、連絡

も取れず、阿鼻叫喚の後に家族の
安否は浜手・中手・山手と居住地
の別なく明暗が分かれ、残された
者は「喪の途上」を刻み続けたで
しょうから。
翻^{ひら}つて東京はどうでしょう？
墨田区に代表される城東、杉並区
に代表される城西の住宅密集地は
平坦な地勢で、面としての共同体
です。他方で山手線の内側は様相
を異にします。池田山・島津山・
御殿山と五反田一帯に象徴される
坂の上には御屋敷が、坂の下には
商店街が広がる地勢が点在。
東西に繋がる道路や鉄路で南北
に階層化された、線としての共同
体の阪神間とは些か異なり坂の上
と下が一体となった、点としての
共同体なのです。
関西で生まれた流行が、東京を
通じて全国へ伝播していた20世紀
後半。それは媒体の集積地という
理由に留まらず、点としての共同
体が都内に数多く存在すればこそ渾
然一体となつて活発な分子運動を
引き起こしているからだ、と記し
たものです。
暗闇坂や仙台坂の上には御屋敷
が、坂の下には商店街が位置する
麻布十番と元麻布の躍動感も同様
でしょう。その暗闇坂の坂下に存
在する「串揚げ あもん」は、夙^{むかし}に
名高き芦屋の店で修行を積んだ青
年が揚げ手。深夜の晩餐に相応し
い、阪神間に特有のラウンジ的寛
ぎの料理店に似た時空です。

